

従業者向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など |
|---------|----|---|----|-----|---------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | | | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | | | |

| | | | | | |
|--------------|----|--|--|--|--|
| 適切な支援の提供 | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | | |

| | | | | | |
|----------|----|--|--|--|--|
| | 33 | (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 | | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | | | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | | |
| 非常時等の | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | | | |
| | 47 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | | | |

| | | | | | |
|----|----|--|--|--|--|
| 対応 | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | | | |

| | |
|-------|---------------|
| 保護者向け | 放課後等デイサービス評価表 |
|-------|---------------|

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 |
|---|---|----|---------------|-----|-------|-----|
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | | | | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | | | | | |
| | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | | | | | |
| | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。 | | | | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | | | | | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | | | | | |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。 | | | | | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | | | | | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | | | | | |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | | | | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | | | | | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)（※5）等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | | | | | |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。 | | | | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | | | | | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | | | | | |
| | 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | | | | | |
| 19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | | | | | | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|--|--|--|--|
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | | | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | | | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | | | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | | | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | | | | |

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|---------------|----|--------|---------------|
| ○事業所名 | アンダンテ蘇我 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 11月 10日 | | ～ | 2025年 11月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 17 | (回答者数) | 10 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 12月 8日 | | ～ | 2025年 12月 12日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 4 | (回答者数) | 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 23日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 高校生・中学生に特化した落ち着いた環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業後を意識し、自立や職業準備につながるよう、スケジュール管理できる習慣をつける支援 ・「自分で考え、行動する」経験ができるイベントの企画 | <ul style="list-style-type: none"> ・学年別の活動を入れ、段階的な取り組みができるようにしていく |
| 2 | 学習支援によって自己肯定感を高められるプログラムの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・「やり切った」「できた」終われるプログラムの提供 ・苦手な分野にも挑戦できるような内容の設定 ・学校の定期テスト前にテスト対策期間を設けて学年別の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の外部研修の機会を増やし、スキルアップを目指す ・家族が参加できる機会を増やす |
| 3 | 進路支援等による、高校卒業後の生活を見据えた支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者に向けた「福祉的な進路」についての企業説明会の実施 ・通学先の学校と連携し、進路決定に向けての助言や情報提供 ・書類作成のアドバイスや面接練習など | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者に向けた説明会を増やし、家族で進路決定に向けて過ごす機会を作る |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 設備の不具合や訓練室の広さ | <ul style="list-style-type: none"> ・建造物の経年劣化 | <ul style="list-style-type: none"> ・今ある環境を清潔に保ち、必要であれば修繕を依頼していく |
| 2 | 地域交流の機会がない | <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流はないが、地域のために奉仕作業をおこなっている ・地域交流の場をつくる機会がない | <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源の活用を積極的に行っていく ・高校生という年代に合わせた地域交流の内容を検討していく |
| 3 | | | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | | アンダンテ蘇我 | | | | | 公表日 年月日 | |
|--------------------------------------|--|---|---------------|-----|-------|---|---|---|
| | | 利用児童数 17 | | | | | 回収数 10 | |
| | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 9 | | | 1 | | ・日常の活動見学が難しい保護者様に対し、写真などでお知らせする機会を増やしていく |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 9 | 1 | | | ・人数の確認をしたことがないが、子ども本人は何の不都合も感じていないので問題ないと思っている | ・契約時の説明をより丁寧に行うことを心掛け、いつでも見学できることもお伝えしていく |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 9 | 1 | | | | 外部講師など、 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 9 | 1 | | | | ・支援プログラムについて、説明する機会を増やし、わかりやすく表記するなどの工夫をする |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 5 | | 2 | 3 | ・体育館へ運動に行くことや広場で体を動かす活動を楽しんでいます | ・具体的にどのような時に活動しているか、広報などを通してお知らせしていく |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 10 | | | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 10 | | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 9 | | 1 | | | ・保護者会時や、外部講師をお招きしての親子参加型研修など、毎回お知らせを出しているが、確実に手元に届いたことを確認できるよう、集計していく |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 9 | | | 1 | | ・面談時等で共通理解できるよう、丁寧な対応を心掛ける |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 10 | | | | ・最近では長期休みの利用が中心で、電話でのやり取りが多いです | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 5 | 2 | | 3 | ・保護者会や兄弟イベントがあるのかと思いますが、忙しくて参加できていないです ・日が浅いのでまだわかりません | ・開催や、開催内容についての説明をわかりやすく記載したお知らせを作成していく ・紙媒体だけでなく、電子も活用し、周知いただけるようにしていく | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|--|--|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 9 | | | 1 | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 10 | | | | ・郵送でお手紙をいただき助かっています | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 9 | 1 | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 8 | | | 2 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 9 | | | 1 | ・入所して日が浅いのでわかりません | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 9 | | | 1 | | ・安全面についての説明についての機会を増やす |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 8 | 1 | 1 | | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 10 | | | | ・学校は休みたいけど、アンダンテは行くと言っています ・イベントに参加することが多いのですが、とても楽しんで参加しています | ・満足いただける活動を継続しつつ、スムーズな登校につなげられるよう、学校との連携も強化していく |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 8 | | 1 | 1 | | ・面談等を通し、率直な意見をいただけるよう徹底する ・提供するプログラム内容を見直し、お子さまがわかりやすい方法で案内するなど、興味を持てる工夫をする |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 10 | | | | ・丁寧な指導で自信がつけました | ・個々の成長に合わせた支援をこころがけ、今後も継続していく |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | アンダンテ蘇我 | | | | 公表日 | 年 月 日 |
|---------|---------|--|-----|---------|---|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 3 | 1 | ・訓練室の形状に合わせた導線を確保している | ・定員数に対し、部屋が狭く感じることがある（高校生男子で体格のよい子、背の大きい子が集まる時） |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 3 | 1 | ・月ごとの予定表を配布、掲示。そのほか、1週間の予定を所内の見やすい場所に記入している | ・建物が古いため、扉が低く、背の高い子はけがの恐れがある |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 4 | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | | ・個室、別室や休憩スペースは確保している | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 4 | | ・日々の業務に組み込まれている | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | | ・責任者が状況を見ながら指導員に声をかけてくれる | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | 1 | | ・外部の評価を入れることで、よりよくなる |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 4 | | ・研修の機会が多くとても良いと思う | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 3 | 1 | ・職員がそれぞれ分担して、計画的にプログラムを行っている | ・在職期間が浅く、支援プログラムを把握しきれていない職員もいる |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 3 | 1 | | ・分析やニーズの把握が全体でできていない |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 4 | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 3 | 1 | ・定期的に会議を開き、意見交換や提案ができています | ・適切な共有まではできていない |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | | ・段階的に、個々に沿ったプログラム、支援が提供できるよう、設定を行っている | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 4 | | ・指導員会議を定期的に行い、分担し計画的にプログラムを行っている ・チームで分担、共有して行っている | |

| | | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|----------------------------------|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 3 | 1 | ・グループ内の事業所とも情報共有を行い、固定化しないよう工夫をしている | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 3 | 1 | ・こどものそれぞれの状況に応じて対応している ・長期休業期間や土曜日は、多様なプログラムを行っている | ・平時は大枠の固定化（制作、コグトレなど）がされている |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 4 | | ・朝と支援終了後に振り返り、情報共有の時間を確保している | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 4 | | ・気になる点や気づきは必ずケース記録に記載している | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 4 | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 4 | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 3 | 1 | ・同じ取り組みの中でも、それぞれの特性に合わせたゴール設定をしている | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 4 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 4 | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 4 | | ・訪問や電話により情報共有している | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 4 | | ・移行先への訪問や電話連絡等で連携を取っている | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 3 | 1 | ・毎年ではないが、講師派遣を依頼し、こども向けの研修を開催 | ・定期的におこなわれていない |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 2 | 2 | ・地域ではないが、利用者が通う学校のイベントに参加させてもらう機会がある | ・同グループ内での交流はあるが、地域交流は行っていない |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 3 | 1 | | ・開催時間が支援時間と被ることもあるため、児発管のみの参加が多い |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 3 | 1 | ・送迎がないため、気になった点はサービス提供記録への記録はもちろんのこと、すぐ保護者へ連絡している | ・個人的にできていない |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 2 | 2 | ・保護者会などで、親子参加の機会を設けている ・高校生とその保護者に向けて、進路説明会を開催している ・外部講師を招いての健康や安全に関する研修をかいさいし、保護者参加も呼びかけている | |
| 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 2 | 2 | | ・利用者負担についてよく理解できていない ・児発管が行っているが、自分ではできていない ・主に児発管がおこなっているため、全体へ周知できていない | |
| 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 4 | | | | |
| 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 4 | | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|------------|--|--|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 4 | | ・相談支援事業所へも情報を共有し、助言をいただくこともある | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 3 | 1 | ・保護者会時に、交流する時間を設けている | ・在職期間が浅く、完全な周知に至らない職員もいる |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 4 | | ・都度対応している | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 4 | | ・予定表や配布物を連絡帳の目立つ場所にファイリングし、保護者の目に留まりやすいようにしている ・配布物が確実に手元に届くよう、保護者用SNSで発信するほか、場合によっては郵送している | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 4 | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 4 | | ・電話連絡が苦手な利用者や保護者は、メールでの連絡ができるようにしている ・筆談やオープンチャットを活用している | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | | ・定期的開催している | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 3 | 1 | | ・フェイスシートに服薬や既往歴が未記載で、後日、服薬等の情報を得る場合がある |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 4 | | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 4 | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 4 | | ・その日のうちに共有し、報告書をもとに改善策を講じている | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 4 | | ・定期的な研修が行われ、研修の振り返りをしっかりと行っている | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 3 | 1 | ・研修を通して学んだ | ・職員個々の経歴や在職期間によって、研修の時期が違うため、配属とともに一度に伝えきれない | |